車庫入れもスムーズな駐車スペース。あえて角度を振ることで建物全体にゆとり空間を生み出しています。

木造の2階建て住宅。インパクトを残すのは何といっても紺色の車庫。ガルバリウム鋼板のスパンを用い、実用性と耐久性に優れながらも、モダンなあしらいをプラスしています。

シンプル＆モダンな２階の和室。押し入れを壁のようにあしらうデザインでしっかりと収納スペースも確保。

2階玄関と駐車場2階のフリースペースをつなぐ渡り廊下。将来は雑貨屋さんを…と、ご夫妻の夢は広がります。

水回りは清潔感あふれるホワイトをベースに、換気と明かり取りの両方を補う小窓を配置。

オーダーの丸いドアはご夫妻のこだわり。リビングサイドは白、しかし裏は緑。シンプルなカラーリングでまとめた室内に、遊び心をプラス。

▲貴志川町の豊かな自然を丸ごと取り入れる2階LDKの設計。生活の中心を2階にまとめているため、プライベートもしっかりと守られ、程よい距離感が保たれています。

◀ 2階リビングだからこその開放感。まるで吹き抜けかと思わすほどの天井の高さで、見た目以上の広さと開放感を生み出しています。お洒落感や開放感を生み出すのは、設計だけでなく、空間のトータルプランニング。テレビ台やダイニングテーブルはオーダー、中道さんのデザイン。

設計・監理 中道哲也（デザインオフィススタジオパートスリー）

施　工 株式会社 トータルプランニング城山

建てようネット【和歌山】で建てた新築第25号！

景勝ひとり占め!!
パノラマを丸ごと
取り入れる2階LDK

紀の川市
コウドの家

Kinokawashi
Koudonoie

山と川の豊かな自然にあふれ、さらに長年、人が培ってきた歴史や文化も共存する郊外都市・紀の川。緑に囲まれ、空気がおいしく、人も時間もどこかのんびり。今回ご紹介する新築第25号「紀の川市・コウドの家」は、たま駅長で全国的にその名を知られる貴志川町内。建て主はK様ご夫妻。ご主人が生まれ育った家の一角に、待望のマイホームを新築しました。

「建てようネット」を通じてご夫妻からデザインと設計、監理を請け負ったのは、"スタイルフリー"をモットーにするベテラン一級建築士・中道哲也さん。ご夫妻と中道さんとの出会いは、2年ほど前にさかのぼります。「二人ともすごく勉強家。家のことについても、デザインのことについても、よく調べて、意見を出し合っていました。私も業界で四半世紀を過ぎましたが、なかなか面白い発想に、感心したほどです」と中道さん。棟上げは今年の夏。それまでお二人と中道さんは、綿密に連絡を取りあり、話し合いながら設計図を仕上げていったと言います。「今はホント、便利になりましたねぇ。メールという手段も増えましたから。おかげで時間も場所も気にせず、タイムリーに、より深いコミュニケーションを取ることができたと思います」。

土地の広さや予算など、いろいろと制限がある中での家づくり。誰もがその中で「これは無理かも…」と、胸にしまってしまう夢や憧れがあります。家づくりで中道さんが最も大切にしているのは、その思いを全部、胸の中から引き出すこと。「出来る、出来ないではなく、限られた中でどのように理想に近づけるか、工夫するかだと思っていますから。だから、建て主さんは何を言っても自由なんですよ（笑）」と、丸ごと引き受けて形にするスタイルフリーの真骨頂。頼もしいかぎりです。

こだわりは、豊かな自然の景色をリビングに取り込む2階のLDK。周りに高い建物がない分、遠くに山の連なりを眺め、その景色と開放感を室内にあしらうことができるのです。太陽光を意識した窓からのパノラマ。自然光を取り入れつつ、外からのプライベートはしっかりと守られる一石二鳥の設計です。生活の中心を2階におくため、家の顔ともいえる玄関も2階に配置。寝室やクローゼット、車庫や風呂場など、あえて見せない部分は1階へ。「車庫からも家へ入れる設計。デザインのポイントは、適材適所にこだわりを取り入れる柔軟性。例えば、家族や人が集まる場所には、床材に心地よい高級木材を使ったり、一番映える場所に埋め込みのタイルを用いたり…。すべてにすると、金額ももちろん大変なことになりますから、それらに相応しい場所を考えることが重要」と、中道さんは話します。

新築工事スケジュール

〈基本設計期間〉
H22年1月～3月

〈実施設計期間〉
H22年3月～5月

〈見積もり依頼期間〉
H22年5月中旬～末

〈起　　工〉
H22年7月4日

〈上　　棟〉
H22年7月30日

〈完成・引渡し〉
H22年10月14日

住宅データ

家族構成／ご夫婦

構造／木造軸組工法
建築面積／
103.22 ㎡（31.23坪）
延床面積／
166.77 ㎡（50.45坪）
敷地面積／
288.89 ㎡（87.39坪）
屋根／ガルバリウム鋼板葺き
外壁／ガルバリウム鋼板
　　防火サイディング

設計・監理

TetsuyaNakamichi
中道哲也
デザインオフィス・スタジオパートスリー

１９６３年生まれ。２５歳のとき我流で建築事務所設立。その後共同でデザイン事務所設立、２００３年現事務所に至る。一級建築士。

モットー ／
施主・施工者・設計者 三位一体

施　工

株式会社
トータルプランニング城山